

東郷神社 神前式次第

一、参進の儀

参進太鼓が響くなか、参進の儀にてご入場。

※雨天時は入場形態が異なります。

一、修祓

神職から身を清めるお祓いを受けます。浴世の汚れのない、清らかな心身に立ち返るための儀式です。

一、齋主一拝

儀式を執り行う齋主がご神前に一礼。それに合わせて一同一拝。

一、齋主祝詞奏上

一同起立し、齋主がご神前に向かって二人の結婚を報告。神様のご加護と恵みをお願いする祝詞を、神道特有の古語で読み上げます。

一、三献の儀

神前式のなかで最も神聖な儀式。「夫婦固めの盃」とも言います。巫女が注ぐお神酒を三種類（小・中・大）それぞれで盃で新郎新婦交互に三度飲みます。飲み方としては最初の一、二口は口を付けるだけで三口目に飲み干します。新郎から新婦、新婦から新郎、新郎から新婦の順。

一、指輪の儀

神前式では元々行われていませんでしたが、最近では取り入れる場合がほとんど。新郎より新婦へ、そして新婦より新郎へ指輪の交換。新郎より新婦へ贈呈のみされるケースもあります。

一、舞の奉納

ご希望で「浦安の舞」というお祝いの舞を奉納いたします。（ご奉納二万円）

一、新郎新婦誓詞奏上

新郎新婦が起立をし、生涯の契りを誓う言葉を読み上げます。新郎が読み上げ、新婦は最後に名前を添えるというのが一般的です。

一、新郎新婦玉串奉奠

神の枝に紙垂をつけたものが玉串。神に捧げる供え物です。玉串に自分の心をのせて新郎新婦が神前に奉り二礼
二拍手一礼の作法で拝礼します。

一、ご媒酌人様玉串拝礼

一、御両家結びの盃

新郎新婦、媒酌人夫妻、両家両親がそれぞれの杯に巫女から受けたお神酒を飲み干す、両家固めの儀式。一同拍手で祝福します。